

2024年2月9日
水間鉄道株式会社

鉄道旅客運賃改定の申請について

水間鉄道株式会社（本社：大阪府貝塚市 代表取締役社長：藤本昌信）では、2024年2月9日に国土交通省近畿運輸局長あてに鉄道事業の旅客運賃上限変更認可の申請を行いました。

申請理由及び申請概要は、以下のとおりです。

1. 申請理由

当社は、沿線の交流人口の増加による地域活性化を目的として、地域と協働した観光振興に尽力してまいりました。しかしながら、少子高齢化の影響による沿線の生産年齢人口の減少など、鉄道を支える基盤そのものが失われつつあり、今後もこの傾向は継続するものと予測されております。

当社の鉄道輸送人員についても同様に、モータリゼーションの進展による鉄道の利用機会の減少や、コロナ禍による生活様式の変化などにより、鉄道の利用者は減少し、今後もコロナ禍以前の水準までの回復は見込めないものと想定しております。

今後の鉄道需要の増加が見込まれない中、公共交通事業として「安心・安全・信頼」を大前提としたサステナブルな鉄道輸送を実現していくためには、コロナ禍以前からの課題であった、老朽化した設備の更新などの安全設備投資や、社会的要請に応えるサービスの高度化など、事業の成長を持続していく必要があります。

そのためには、将来に先送りすることのない、計画的な設備投資が必須となり、コロナ禍以前の設備投資水準以上に、事業上のニーズ及び社会から要請される価値に対応していく必要があると認識しております。

これまであらゆる経営合理化策やコスト削減に努めてまいりましたが、現状の運賃水準では「安心・安全・信頼」の持続的提供には限界があると判断し、当社の最大限の経営努力の継続を大前提として、お客様に費用の一部をご負担いただきたく、運賃の改定を実施させていただくことといたしました。

2. 申請概要

(1) 申請日及び改定予定日

申請日：2024年2月9日

改定日：2024年4月1日（予定）

(2) 申請運賃

普通旅客運賃（大人）

キロ程	現行運賃	改定運賃	改定率
1区 1.5km まで	180 円	200 円	11.1%
2区 1.5km を超え 3.0km まで	220 円	250 円	13.6%
3区 3.0km を超え 4.5km まで	270 円	300 円	11.1%
4区 4.5km を超え 5.5km まで	300 円	330 円	10.0%

通勤定期旅客運賃（大人 1 か月）

キロ程	現行運賃	改定運賃	改定率
1区 1.5km まで	6,760 円	7,800 円	15.4%
2区 1.5km を超え 3.0km まで	8,370 円	9,750 円	16.5%
3区 3.0km を超え 4.5km まで	9,990 円	11,700 円	17.1%
4区 4.5km を超え 5.5km まで	10,800 円	12,870 円	19.2%
（平均割引率）	（38.1%）	（35.0%）	

通学定期旅客運賃（大人 1 か月）

キロ程	現行運賃	改定運賃	改定率
1区 1.5km まで	3,970 円	4,800 円	20.9%
2区 1.5km を超え 3.0km まで	4,930 円	6,000 円	21.7%
3区 3.0km を超え 4.5km まで	5,880 円	7,200 円	22.4%
4区 4.5km を超え 5.5km まで	6,370 円	7,920 円	24.3%
（平均割引率）	（63.6%）	（60.0%）	

(3) 改定率

定期外運賃	定期運賃			計
	通勤	通学	計	
11.5%	17.0%	22.3%	19.7%	17.0%

3. 収支実績及び推定

	2022年度 (実績年度)	2024～2026年度(3年間合計)	
		現行	申請
収入	264,477千円	842,928千円	960,693千円
支出	293,162千円	960,238千円	960,238千円
配当所要額	660千円	34,665千円	34,665千円
差引損益	▲29,345千円	▲151,975千円	▲34,210千円
収支率	90.0%	84.7%	96.6%

4. 運賃収入内訳

	2022年度 (実績年度)	2024～2026年度(3年間合計)	
		現行	申請
定期外	128,128千円	420,954千円	469,197千円
定期	118,851千円	370,975千円	440,497千円
計	246,979千円	791,929千円	909,694千円

5. 輸送人員の見通し

	2022年度 (実績)	2023年度 (推定)	2024年度 (推定)	2025年度 (推定)	2026年度 (推定)
定期外	609千人	651千人	659千人	667千人	675千人
通勤定期	766千人	765千人	776千人	787千人	798千人
通学定期	318千人	319千人	323千人	327千人	331千人
計	1,693千人	1,735千人	1,759千人	1,782千人	1,805千人

6. 設備投資実績及び計画

(1) 設備投資実績と内容

老朽化した線路設備の更新・交換を中心とした設備投資を計画的に実施してまいりました。また、お客様サービス改善の一環として、防犯対策のための踏切道への監視カメラ設置や、貝塚駅及び水間観音駅の改装・改修を行いました。

2020 年度	2021 年度	2022 年度
105,306 千円	113,038 千円	86,835 千円

- ・ 貝塚駅改装及び水間観音駅改修 34,626 千円
- ・ レール交換 14,688 千円
- ・ 分岐器更新 17,210 千円
- ・ 電車線交換 26,535 千円
- ・ PC まくらぎ交換 48,007 千円
- ・ 道床交換 78,409 千円
- ・ 踏切遮断器更新 37,672 千円
- ・ 踏切道監視カメラ設置 8,948 千円

(2) 設備投資計画と概要

安全対策として、老朽化した線路設備の更新・交換は優先度を見極めながら引き続き進めるとともに、同じく老朽化が顕著な車両の改修を進め、長寿命化を図ります。また、高額な投資が必要となるため更新を見送っていた変電所機器は、機器の状態を見ながら計画的に更新してまいります。

2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
48,849 千円	28,334 千円	33,668 千円	31,735 千円

- ・ 道床交換 36,734 千円
- ・ 踏切遮断器更新 8,667 千円
- ・ 踏切警報機柱更新 8,668 千円
- ・ 分岐器更新 6,667 千円
- ・ 車両重要部検査 30,629 千円
- ・ 変電所機器更新 33,334 千円
- ・ 運賃改定ソフト改修 15,220 千円

7. 経営合理化の取組

当社は、鉄道事業における「安心・安全・信頼」の持続的提供のため、最大限の経営努力を継続してまいりました。

コロナ禍以前からは、業務合理化による事務員の人員削減を進め、人件費削減に努めております。また、コロナ禍以降はダイヤ改正を実施し、仕業の最適化を進めてまいりました。中長期的な計画としては、技術の内製化を進めており、直営化による修繕費の削減効果を期待しつつ、かつ輸送の安全確保に向けた体制を強化してまいります。

そのほか、沿線の交流人口増加、観光振興による運賃収入増加を目的とした施策である、水間寺のライトアップや、電車運転体験などの自社イベント実施、人気 YouTuber とのコラボイベント開催などについては、今後も継続的に実施してまいります。

8. 運賃制度及び営業企画

(1) 主な企画乗車券

- ・一日フリー乗車券（昼間フリー乗車券）

水間線全線が1日（もしくは昼間帯）乗り降り自由となる乗車券です。

- ・水間寺参詣手形

水間寺参詣を目的として販売する定期券タイプの乗車券です。

(2) 主な営業サービス

- ・電車で遊ぼう（貸切電車）

営業列車（後部車両1両）もしくは車庫等留置車両を貸切できる制度です。

- ・電車運転体験

車庫内で電車の運転体験ができるサービスです。（不定期開催）

- ・夏休みこどもパス（春休みこどもパス）

小学校の夏休み（もしくは春休み）期間中に利用できる水間線全線が乗り降り自由となる乗車券です。貝塚市内在住の小学生を対象に無料で配布しております。

(3) 新設する割引制度

- ・精神障害者割引

障害者に優しい鉄道輸送を目指し、既存の障害者割引において精神障害者を割引対象として拡充いたします。（2024年4月1日（予定）より）

9. お客様サービス向上の取組

(1) IC 関連機器の更新

システム導入以来、機器更新がなされていない IC 関連機器について、機器の状況を見ながら計画的に更新し、お客様の利便性向上に努めます。

(2) MaaS 関連システムの整備

社会的要請に応えるサービスの高度化として、MaaS 関連システムの整備を検討し、お客様の利便性向上に努めます。

(2023 年 9 月 1 日 関西 MaaS 協議会に加盟)

(3) 障害者に優しい鉄道輸送

障害者に対する割引制度の拡充や、各設備のバリアフリー化を計画的に実行し、障害者に優しい鉄道輸送を推進いたします。

10. お問い合わせ先

水間鉄道株式会社 鉄道部

TEL:072-422-4567 (土曜・日曜・祝日除く 8:45~17:35)